

2026年3月3日

報道関係各位

三菱地所株式会社
兼松株式会社
株式会社 SkyDrive

東京都「空飛ぶクルマを活用したサービスのビジネスモデル構築に関するプロジェクト」
国内初の空飛ぶクルマの実運用を想定した飛行実証を実施
～空飛ぶクルマの離着陸場の運用を自動化・最適化、社会実装へ前進～

三菱地所株式会社、兼松株式会社、株式会社 SkyDrive の3社は、2025年6月に採択された東京都の補助事業「空飛ぶクルマを活用したサービスのビジネスモデル構築に関するプロジェクト」の一環として、2026年2月24日から2月28日までの5日間、東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場において、実運用を想定した空飛ぶクルマの飛行実証を実施しました。

本実証は、空飛ぶクルマの社会実装を見据え運用上の課題を抽出することを目的に、空飛ぶクルマの飛行と Vertiport Automation System^{※1} を活用した旅客ターミナルのオペレーションを実証した、国内初^{※2} の取り組みとなります。

※1 Vertiport Automation System (VAS) :

空飛ぶクルマの離着陸場の運用を自動化・最適化するシステム。離着陸場の空き状況管理や周辺空域の監視などの運航支援、地上設備を始めとしたリソースのデジタル管理、チェックインや顧客管理をシームレスに行う顧客体験に必要な機材を配置することで、空飛ぶクルマの安全・安心な高頻度運航の実現を支援する。

※2 3社調べ

ターミナル実証では、顔認証によるチェックインや保安検査など、搭乗前に必要となる各種手続きを検証するための体験モニターを一般募集し、旅客ターミナル運用の実効性を確認しました。モニター検証を通じて得られたフィードバックをもとに、利便性や運用面での課題整理を行い、今後の社会実装に向けた検討に活用してまいります。飛行実証においては、都内で初めて国産機体を使用した遠隔操縦によるデモフライトを実施しました。

また、実証期間中は、次世代の移動手段に対する理解促進や社会受容性向上のため、一般のお客様にもご参加いただける見学会を同時開催しました。関係者を含め1,500人超が来場し、空飛ぶクルマの離着陸や飛行の様子、ターミナルなどの運航管理施設を間近で見学しました。

3社は今後も、空飛ぶモビリティの社会実装およびサービス化に向けて、検討を進めてまいります。



▲デモフライトの様子



▲ターミナル実証の様子



▲2月24日に開催されたメディアデーの様子



▲関係者および副知事訪問の様子 ※3

※3 (左から) 三菱地所株式会社 丸の内業務企画部長 塩入 啓之
 東京都 デジタルサービス局長 高野 克己
 東京都 副知事 松本 明子
 東京都議会 議長 増子 博樹
 江東区長 大久保 朋果
 東京都 副知事 宮坂 学
 東京都議会副議長 菅野 弘一
 株式会社 SkyDrive 代表取締役 Founder / CEO 福澤 知浩
 兼松株式会社 常務執行役員 城所 僚一
 Skyports Limited. CEO & Founder Duncan Walker

■ 実証の映像 (SkyDrive 作成)

<https://youtu.be/II0tTF3c9Ak>



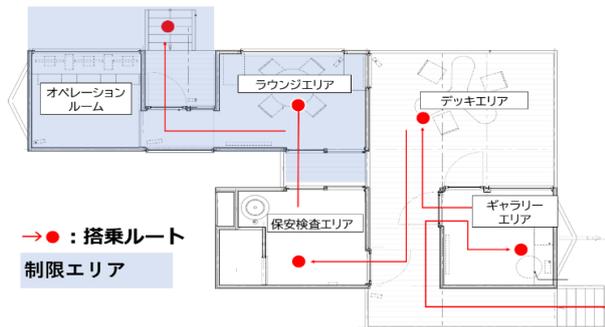
■ 実証内容

【① 空飛ぶクルマの旅客ターミナル運用の検証 (ターミナル実証)】

海外で空飛ぶクルマの離着陸場の設置・運用事業を展開する英 Skyports 社の協力のもと、Vertiport Automation System を備えた旅客ターミナルを新たに整備。顔認証チェックインや保安検査、安全ビデオ視聴、搭乗ゲート等を一般モニターに利用体験していただきました。体験者のフィードバックを集計し、今後のサービス・運用改善に活かします。

<ターミナル概要>

トレーラーハウスを活用した可動産式ターミナル	
延床面積	約 54 m ² (トレーラーハウス 17.06 m ² ×2 基+デッキスペース約 20 m ²)
設計	株式会社三菱地所設計
施工	YADOKARI 株式会社
機能	<p>【ギャラリーエリア】空飛ぶクルマに関する展示を配置し、情報提供します。</p> <p>【デッキエリア】展望スペースの設置により、搭乗客の期待感を高めます。</p> <p>【保安検査エリア】顔認証システムによる自動チェックイン、保安検査等により、シンプルかつスムーズな搭乗受付を実施します。</p> <p>【ラウンジエリア】待合スペースやディスプレイを通じた空飛ぶクルマの運航状況や各種情報提供により、搭乗客に快適な待ち時間を提供します。</p> <p>【オペレーションルーム】離着陸場の着陸エリア・駐機スポット、設備等の空き状況、周辺空域(天候、周辺を飛行する航空機)の監視等による運航支援、チェックイン等の搭乗客の状況を一元的にシステム管理することで、離着陸場の安全かつ効率的な運用を支えます。</p>



▲ターミナル間取り図



▲ターミナル外観

【② デモフライト、空域監視システムの検証等を通じた空飛ぶクルマ運用の実証（飛行実証）】

SkyDrive が開発する空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」を用いたデモフライト（自動制御・リモート操縦を想定した無人飛行の運用）を実施するとともに、その運航情報を空域監視システム^{※4}に取り込んで飛行経路を可視化する等のデモンストレーションを行いました。

※4 飛行する空域において、周辺を飛行する他の機体（飛行機やヘリなども含む）の飛行状況を監視するシステム

<デモフライト概要> 2026年2月24日（火）第一フライトの情報

使用機体	SkyDrive 式 SD-05 型 <仕様> <ul style="list-style-type: none">パイロット 1 人、乗客 2 人の 3 人乗り約 11.5 m × 約 11.3 m × 約 3 m（ローター含む）最大離陸重量は 1,400kg駆動方式：12 基のモーター、ローター燃料：バッテリー（電動）素材：複合材やアルミ合金など最高速度：100 km/h（対気速度）航続距離：15 ～40 km
飛行距離	150m
飛行時間	約 3 分 30 秒
飛行速度	4m/s
飛行高度	13m

■ 各社の役割

三菱地所	<ul style="list-style-type: none">全体統括運航与件、ポート与件を踏まえ、都市の街やビルなどへの実装検討ターミナルの整備
兼松	<ul style="list-style-type: none">海外での規制、技術動向を踏まえたポート与件などの情報提供、与件整理ポート運営に関する検討、情報提供VAS を活用したターミナル運用実証 <p>* 業務提携先の英 Skyports 社からの協力を得て実施</p>
SkyDrive	<ul style="list-style-type: none">運航実証の実施運航事業目線でのポート与件整理航空管制、運航に関連する検討、調整ビジネスモデルの検討

■ 株式会社 SkyDrive 概要

設立	2018年7月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive.co.jp/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2

	<p>豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区</p> <p>名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F</p> <p>東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F</p> <p>大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F</p> <p>山口テストフィールド：山口県山口市阿知須</p>
子会社	<p>株式会社 Sky Works：静岡県磐田市</p> <p>SkyDrive America, Inc.：Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A.</p> <p>株式会社 AlterSky：愛知県豊田市</p>
事業内容	<p>「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立、愛知県豊田市を主拠点に「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループの工場で製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与、2020年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功、2025年には大阪・関西万博にてデモフライトを実施しました。2028年のサービス開始を目指し、引き続き機体開発に努めてまいります。</p>

本件に関するお問い合わせ

- 三菱地所株式会社 広報部 03-3287-5200
- 兼松株式会社 広報室 電話：03-6747-5000 <https://www.kanematsu.co.jp/inquiry/>
- 株式会社SkyDrive PR Email：info@skydrive.co.jp <https://skydrive.co.jp/contact>